

総務委員会会議記録

総務委員会委員長 岩渕 誠

- 1 日時
令和3年7月6日（火曜日）
午後1時8分開会、午後1時18分散会
- 2 場所
第1委員会室
- 3 出席委員
岩渕誠委員長、佐々木宣和副委員長、佐々木順一委員、郷右近浩委員、岩崎友一委員、
武田哲委員、工藤大輔委員、中平均委員、飯澤匡委員
- 4 欠席委員
なし
- 5 事務局職員
鈴木担当書記、東根担当書記、阿部併任書記、大森併任書記、金野併任書記
- 6 説明のために出席した者
総務部
白水総務部長、千葉理事兼副部長兼総務室長、山田財政課総括課長、
- 7 一般傍聴者
なし
- 8 会議に付した事件
議案の審査
議案第19号 令和3年度岩手県一般会計補正予算（第4号）
第1条第1項
第1条第2項第1表中
歳入 各款
- 9 議事の内容
○岩渕誠委員長 ただいまから総務委員会を開会いたします。
これより本日の会議を開きます。本日はお手元に配付いたしております日程により会議を行います。
議案第19号令和3年度岩手県一般会計補正予算（第4号）第1条第1項、同条第2項第1表歳入歳出予算補正中、歳入各款を議題といたします。
当局から提案理由の説明を求めます。
○山田財政課総括課長 議案第19号令和3年度岩手県一般会計補正予算（第4号）について御説明申し上げます。

今回の補正は、希望する全ての県民への新型コロナウイルスワクチン接種を加速させるため、診療所や病院における個別接種のさらなる促進、県による柔軟な広域集団接種の実施及び職域接種に対する支援など、追加的に必要となる予算を計上したものであります。

議案（その3）の1ページをお開き願います。まず、第1条ですが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ29億5,434万8,000円を追加し、補正後現計を8,269億4,705万2,000円とするものであります。

第2項歳入歳出予算の補正の款項の区分等につきましては、2ページから3ページの第1表のとおりであります。これにつきましては予算に関する説明書により御説明申し上げます。

歳入歳出予算の内容につきまして、予算に関する説明書により御説明申し上げますので、予算に関する説明書の3ページをお開き願います。

まず、歳入について御説明申し上げます。9款国庫支出金のうち2項国庫補助金につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に伴い、財源を補正するものであり、28億7,963万3,000円の増額でございます。

次に、4ページ、14款諸収入のうち8項雑入につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係る市町村負担金の補正であり、7,471万5,000円の増額でございます。

以上御説明申し上げましたとおり、今回の補正で増額する歳入総額は29億5,434万8,000円となっております。

歳出につきましては、当委員会の所管に係るものはございません。

以上で説明を終わります。よろしく御審議を賜りますようお願いいたします。

○**岩淵誠委員長** ただいまの説明に対し、質疑はありませんか。

○**郷右近浩委員** 予算については、国にしっかり財源の手当てをしていただいたということで了解しました。

令和3年度一般会計第4号補正予算は、新型コロナウイルスワクチンの大規模接種会場をふやしたり、希望する全ての県民への新型コロナウイルスワクチンの接種をさらに促進しようとする内容となっております。最近の報道では、新型コロナウイルスワクチンが不足するのではないかとわれておりますが、本県に対する影響、供給される新型コロナウイルスワクチンの見込みをどのように考えておられるのか、お伺いしたいと思います。

○**白水総務部長** 新型コロナウイルスワクチンの見込み等でございます。令和3年7月に入ってから、国からの新型コロナウイルスワクチンの供給量が減っております。令和3年6月は前半と後半の2回に分けて18万人分程度が供給されたのですが、令和3年7月は11万人分程度の供給となっておりますので、供給量が4割弱減少しているという状況でございます。

令和3年8月の見込みについてですが、令和3年7月5日、厚生労働省から通知が参りまして、供給量は7月とほぼ同等か、又は多少減少するかもしれないという見込みでござ

います。供給量の見込みを早期に示してもらいたいということを、市町村から国に要望していると聞いております。県としても、供給量の見込みを早期に示すよう、全国知事会を通じて国に要望しているところでございます。

県が実施する新型コロナウイルスワクチンの集団接種につきましては、モデルナ社の新型コロナウイルスワクチンの供給が停止している状況でございますので、令和3年8月以降の実施をはっきり決定できない状況でございます。新型コロナウイルスワクチンの供給が円滑に行われるよう、引き続き全国知事会等を通じて国に要望していきたいと思っております。

令和3年度一般会計第4号補正予算につきましては、令和3年10月から11月にかけて高齢者等以外の一般接種も含めた新型コロナウイルスワクチンの接種を確実に完了させることを目指し、さまざまな対策を実施できるように必要経費を計上しているところでございます。

○郷右近浩委員 総務委員会でお聞きすることがはばかれるところもあったのですが、新型コロナウイルスワクチンの供給量がわからなければ、県が大規模接種会場を設置したとしても接種ができないといった事態が生じるのではないかと思います、お伺いしました。

国が新型コロナウイルスワクチンの接種をさらに促進していくという中であって、接種を希望する県民に行き渡るほどの新型コロナウイルスワクチンの供給はされないのではないかと危惧しております。新型コロナウイルスワクチンの供給が不足した場合、例えば予定していた大規模接種を中止するということはあり得るのでしょうか。

○白水総務部長 新型コロナウイルスワクチンの供給の関係の御質問をいただきました。保健福祉部を通じるなどして情報収集しておりますけれども、モデルナ社の新型コロナウイルスワクチンについては、自治体と自衛隊が行う集団接種に対する供給が優先される見通しであると国から聞いております。国からのさまざまな通知等を参考に、しっかり準備をしていくことに尽きると思っております。

新型コロナウイルスワクチンの供給量の見込みに不透明なところはあるのですが、いざ新型コロナウイルスワクチンが供給されたときに臨機に対応できるよう、必要な経費を令和3年度一般会計第4号補正予算に計上させていただきました。令和3年10月から11月にかけて新型コロナウイルスワクチンの接種を完了させることができるよう、しっかり取り組むことに尽きると思っておりますので、よろしく申し上げます。

○飯澤匡委員 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係る市町村負担金についてですが、市町村の財源は何でしょうか。

○山田財政課総括課長 国から市町村に対して1回の接種当たり2,070円が交付されますが、それが負担金として県に入るという形になっております。

○岩淵誠委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○岩淵誠委員長 ほかになければ、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○岩淵誠委員長 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案を可とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○岩淵誠委員長 御異議なしと認めます。よって、本案は原案を可とすることに決定いたしました。

以上をもって付託案件の審査を終わります。

以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。本日はこれをもって散会いたします。